

社会福祉法人高岡市身体障害者福祉会

志貴野長生寮



贈呈理由

業務用エコキュートの導入により、省エネルギー・省コストな施設を実現



ヒートポンプ給湯



志貴野長生寮

安心な日常生活を支援する 障害者・高齢者福祉施設

社会福祉法人 高岡市身体障害者福祉会は、1968年に県下で2番目の身体障害者授産施設である富山県立志貴野授産所を開所した。1983年に財団法人から社会福祉法人に組織替えし、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、地域社会において自立した生活を営むための支援を目的に、さまざまな社会福祉事業を展開している。

同法人が運営する高齢者施設「志貴野長生寮」では、一人ひとりの思いに寄り添い、真心と笑顔で接することを基本理念に、利用者の安心な日常生活を



業務用エコキュート

支援し、地域社会に貢献してきた。

一方で、1995年の開所以来、使用してきた給湯・空調設備の経年劣化や燃料価格の変動が課題となっていた。

高効率設備の導入により、 安心・安全で快適な施設へ

2011年に行った、同法人の障害者施設「志貴野ホーム」における空調・給湯システムの電化リニューアルも踏まえ、志貴野長生寮では、給湯設備には業務用エコキュート、空調設備には空冷ヒートポンプチラーを採用し、熱源転換を実施した。業務用エコキュートは全4系統を分散配置し、放熱ロスや搬送動力の低減を図った。また、運用面においても、デマンドコントローラーによって電力使用量を「見える化」し、徹底的なエネルギーのコスト管理に取り組んだ。

これにより、大幅な省エネルギー化とCO₂削減による環境負荷低減を実現した。中でも、給湯設備の一次エネルギー消費量は76%削減した。また、利用者

にとってはもちろんのこと、従業員にとっても安心・安全な設備となり、あわせてその効果の大きさを実感している。

今後も基本理念を追求し、利用される方々の健やかな生活を支援できるよう、施設のさらなる運用管理に取り組み、快適な施設づくりを推進していく。

一次エネルギー消費量削減効果

従来システム	温水ボイラ(灯油) 一次エネルギー消費量:1,855GJ
採用システム	業務用エコキュート 一次エネルギー消費量:451.3GJ



【諸元】実測結果に基づく年間シミュレーション比較
一次エネルギー換算値
※電気(夜間)9.28MJ/kWh ※灯油36.7MJ/ℓ
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」

志貴野長生寮

所在地:富山県高岡市滝新21-1
設備設計:株新建築設計事務所
設備施工:カイハツ・マルサン共同企業体
延床面積:20,446.82㎡
竣工:2018年更新

■設備概要

業務用エコキュート
6kW×4台 貯湯槽0.55㎡×4基
40kW×2台 貯湯槽8㎡、
40kW×2台 貯湯槽10㎡[三菱電機]